

アイヌの人たちの衣服について

厚沢部町立館小学校

6年（ ● ● ● ● ）

1 課題設定の理由

アイヌの人たちの文化と自分たちの文化の違いを知りたいと思った。特に衣服に興味があったので、これを課題に設定した。

2 衣服の素材

動物の皮を使ったり、魚の皮を組み合わせたものや、植物、樹皮、木綿、鳥の羽毛を使ったりする。

(1) レタラペ（草皮衣）

イラクサなどの植物のせんいを使う。

(2) アットゥシ（樹皮衣）

オヒョウやシナノキという木のせんいを使う。

(3) チカルカルペ（木綿衣）

木綿衣は、大きく4つに分けられ、その中でも、アットゥシ（樹皮衣）に似せて作ったのがチカルカルペと考えられるそう。

(4) チカッウル（鳥皮衣）

エトピリカという鳥などの羽を使う。

鳥皮衣は忌避され、衰退したそう。

(5) ユクウル（獣皮衣）

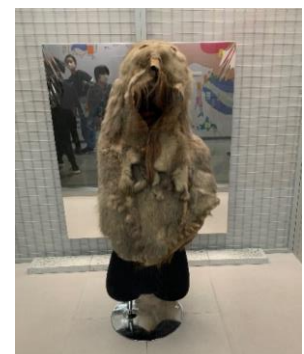
陸上動物や海獣の皮を使っている。

(6) カヤハ（魚皮衣）

サケやマスなどの魚の皮を使って組み合わせたもの。



【チカルカルペ】



【ユクウル】

3 まとめ

自分たちが洋服の素材として使っていない、魚の皮や木や草などが素材として活用されていることに驚いた。アイヌの人たちは、身近なものを大切に、素材として洋服にしていたのだと思った。

4 引用資料

Akarenga-h.jp

平取町立二風谷アイヌ文化博物館

ジャパンナレッジ

北海道北方民族資料館の資料